

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

久喜市立栗橋東中学校

【取組内容⑤】「地域の将来や持続可能性」を検討するために、自ら課題を設定し、GISとGoogleworkspaceを活用しながら考察し、構想、表現する授業実践（実践段階①）

・地域の在り方 単元計画

第1時	<ul style="list-style-type: none"> グループの方針決定（①自然環境②人口と都市村落③産業④交通通信の4つからテーマを決定し、学生、子育て世代、高齢者東京で勤務する人、地域で働く人の中から考察対象を選ぶ）
第2～3時	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの関心に合わせて、GISを活用し、地理情報を入手する。 データから分かる栗橋の特徴や発生している現象をまとめる。 栗橋の特徴について、背景や他地域との関連について考察する。
第4時	<ul style="list-style-type: none"> 地域の課題を明確にした上で、「よりよい栗橋について」考察する。
第5時	<ul style="list-style-type: none"> 久喜市民調査の結果と、自分たちの調査結果を振り返り、「十分考察できている点と不十分な点」を確認する。 6時以降の再調査やスライドの完成に向け、調査すべきだと思う点について話し合い、方針を決定する。
第6～8時	<ul style="list-style-type: none"> 再調査を実施する。（調査を通して何があればより良くなるか、どのような手だてがあれば課題を解決できるかについて考察していく。） 自分たちの調査内容や市民調査の結果、再調査した内容を整理して、Googleスライドを完成させていく。
第9～10時	<ul style="list-style-type: none"> スライド発表 まとめの記入

第1時（班の方針決定）

☆今までの日本の諸地域の学習で得た視点をもとに、栗橋の町の様子を関連付けた上で、自分のグループが追究していきたいテーマについて明確にしていこう！

考えてゆく視点・テーマの例

- ①自然環境（環境保全・環境問題・防災・地形が与える影響）
- ②人口と都市村落（過疎と過密・少子高齢化・人口減少・住宅地増・文化や歴史）
- ③産業（産業の空洞化・電力やエネルギー・農業・観光・工業団地・地元にある産業）
- ④交通通信（交通網の広がり・通信網の広がり・都心へのアクセス）

※テーマは必ずしも1つに絞る必要はありません。追加したり、組み合わせても構いません！

・考察していく対象を決定しよう！

①学生
 ②子育て世代
 ③栗橋以外(東京方面)で勤務する人
 ④地元で働く人
 ⑤高齢者

→

自分たちのグループの考察対象はこれ！
 (旧栗橋か南栗橋のどちらにするとするか選んで下さい。)

→ (旧栗橋・南栗橋)の地元で働く人

・上の①～④の視点を参考に、私たちの住む地域に関して、より良くしていきたいことをグループで考えて、ピラミッド型のワンキングを作成しよう！(GISを使ってもよい)
 ※ワンキングを作成できたら、テーマ決定に取り入れたい項目に○をつけよう！

↑

働き手を増やす

↓

地元で働く人を増やす

↑

農業を活性化

↓

観光客を呼び込む

↑

医療機関

↓

文化や歴史を盛り込む

↑

観光客を呼び込む

↓

農産物を加工

↑

便利な施設

↓

地域特色を生かした産業

テーマ番号

②

班の方針を決めた後は、自分たちの関心に合わせてGISを活用する。町の様子の変遷や、変わらないもの等について調査を進めていく。
 （第2時）

自分たちのグループが追究していくテーマや、地域を良くしていくために、考えるべき点

地元で働く人を増やすために農業などの地域の特長を生かした産業の活性化を目指す。